

JCI 中性子線を用いたコンクリートの検査・診断に関する研究委員会 (TC191A)
第 4 回委員会 議事録 (案)

日時：2020 年 10 月 1 日 (木) 13:00～15:00

場所：Zoom 会議

出席者：小林委員長，氏家，大竹，長谷，久保，瀬古，兼松，石川，大島，大野，岡崎，小野，金光，酒井，鈴木，富井，松沢，依田

オブザーバー：水田

事務局：綿貫

資料 (Zoom 会議上で公開)

- ・ 第 3 回議事録
- ・ 議事次第
- ・ WG1 資料(4-0 議事録, 4-1 鉄道橋, 4-2 道路橋, 4-3 床版, 4-4 港湾構造物, 4-5 電力施設構造物, 4-6 農業水利施設, 4-7 全体集約)
- ・ WG2 資料
- ・ 目次構成案

1. 前回議事録の確認

小林委員長より前回議事録の確認が行われ，内容に関し了承された。

2. WG 活動

WG1, WG2 に分かれてそれぞれ活動が行われた。

3. WG 活動の報告

(1) WG1 (維持管理の現状と課題)

・長谷主査から，WG1 の議事録及び活動概要について説明がなされた。また，WG1 の各委員から，調査結果（維持管理，非破壊検査のニーズ，中性子線利用イメージ）の概要の説明がなされた。

・報告書完成に向けて，現状と同じ方向性で作業を進めていただくこととなった。

・写真などは委員会内(各自もしくは WG)で転載許可を取る必要があるため，執筆の際に注意いただく必要があることが小林委員長より述べられた。

(2) WG2 (中性子線活用研究動向)

・瀬古主査から，WG2 の議事録及び活動概要について説明がなされた。担当分野を決めて，各担当が報告書のベースとする調査結果を執筆中であり，月 1 回程度の議論を行いながら 12 月中に報告書案を完成させる予定で進めていることが報告された。

- ・調査内容を詳細に説明する場合、海外文献の図表の掲載が課題(費用が発生する)であるが、まずは金額を調査して図表の掲載に関する方針を決定することとした。
- ・各担当の報告で、装置の説明が重複してしまうので、RANS も含めた装置・機器の説明については報告書内に別途章立てして執筆することとした。
- ・各測定方法のデメリットを執筆する必要はなく、測定でのメリットを執筆する方針とした。

4 報告書の目次構成

- ・国内で利用可能な装置についてまとめたものを1章と2章の間に設けることとした。
- ・章構成については、引続き検討を行うが、FS 委員会報告書の章構成とは変更し、2章→4章→3章→5章とする案が議論された。

5. 共通試験, 室内実験等

- ・2020年2月頃に予定していたRANSでの久保幹事, 五十嵐委員, 酒井委員らの実験は予定通り終了し, 実験概要について各委員から説明がなされた。
- ・RANSを使用した実験の委員会報告書での取り扱いに関しては, 各委員が論文等で発表した成果を引用し, 委員会報告書内の該当する箇所で簡単にまとめていただくこととした。
- ・大竹幹事より, RANS2の測定が可能な状況となり, インフラへの適用性を実験可能である旨が述べられた。

6. 今後の予定

- ・新型コロナウイルスの影響による委員会の延長はせず, 予定通り2021年3月までに報告書をまとめる形で進めることとした。
- ・報告会に併せて, シンポジウムを実施する方向で進めることとした。一般的なスケジュールで進める場合, 2月には募集を開始する必要がある(5月締め切りとした場合)。
- ・シンポジウムの募集対象としては, 実構造物への適用が可能なビーム, 非接触・非破壊で内部を見る, などのキーワードが案として挙がった。
- ・シンポジウムの会告のたたき台は岡崎委員・水田オブザーバーに作成いただくこととした。
- ・今後の全体委員会については, 12月と3月に開催する予定となった。

以上